

公益財団法人として、理念であるユースホステル運動の活性化や青少年の健全育成活動に積極的に取り組み、「公益財団」の名に相応しく社会に貢献していきます。また、大阪市立青少年センター、羽衣青少年センター、大阪府立少年自然の家では、地域における社会教育拠点としての機能を維持し、利用者の満足度を更に高める運営を目指していきます。

## 基本方針

### 1. ユースホステル運動の振興のための積極的な取り組み

拠点となる3つの青少年施設で実施する各種事業を通じて、ユースホステル運動の精神にもとづき、青少年健全育成のための事業展開をしていきます。さらに、子ども対象の野外活動事業や全年齢層を対象としたウォーキング事業も実施します。

事業実施にあたっては、広報スケジュールやプログラム内容を充実させ、より多くの参加者獲得を図るとともに、ホームページやニュースリリース等で積極的にアピールすることに注力し、ユースホステル運動の存在を発信していきます。

また、一般財団法人日本ユースホステル協会および国際ユースホステル連盟とも連動して、ユースホステル運動の振興と発展に力強く取り組んでいきます。

### 2. ユースホステルの基盤充実と拡大

当協会の経営および活動の基盤であるユースホステルの利用者の拡大活動を推進していきます。学校や企業団体へのDM等による新規およびリピート利用獲得、予約サイトの充実と自在化により個人客や外国人観光客利用の増大を図っていきます。

### 3. 大阪市立青少年センターの採算化運営へ

本年4月より5年間の指定管理を受託した大阪市立青少年センターは、利用料金の値上げをしますが、文化ゾーンとユースホステル、レストランの利用増大に向け、全力を上げていきます。また、受付・予約等日常業務の一体運営を充実させ更なる効率化や一層の経費削減活動により、採算化への基盤化を進めていきます。

# 事業計画

## 1, 登録会員数

会員数は10%前後の減少が続いており、大阪においても平成26年度は約1,000人となる見通しです。平成27年度はこの減少傾向に歯止めをかけるべく、青少年を主体にした会員獲得のための諸策を継続して実施します。

- ・インターネットによるオンライン入会の推進
- ・パブリシティーを強化し広報活動を充実
- ・大学ユースホステルクラブを中心にした事業の展開と連携
- ・事業参加者への入会促進
- ・会員制度の見直し(会費等)

## 2, ユースホステル運動の事業推進

### (1) 子どもホステリング事業

- |                                |    |
|--------------------------------|----|
| ① 1泊2日で行うハイキングを伴う野外活動          | 2本 |
| ② 2泊3日で行うサマーキャンプ               | 1本 |
| ③ 羽衣青少年センター等、当協会の運営施設を使った日帰り事業 | 4本 |

### (2) ウォーキング事業

- |                  |    |
|------------------|----|
| ① 伊勢迄歩講          | 1本 |
| ② 一発チャレンジ100km歩行 | 1本 |
| ③ 近郊ウォーキング       | 2本 |
| ④ 歩行検定           | 2本 |
| ⑤ ハイキング          | 1本 |

### (3) 会員サービスの事業・国際交流

- |                             |
|-----------------------------|
| ① 旅行セミナー(年1回)と旅行相談会(月1回)の充実 |
| ② 外国人旅行者のためのインフォメーション活動     |

### (4) リーダーと指導者の養成

- |                        |
|------------------------|
| ① ボランティアリーダーの委嘱会・合同研修会 |
| ② ボランティア各組織ごとの専門的研修会   |

### (5) 広報活動

- |                            |
|----------------------------|
| ① モンベルフェアへのブース出展           |
| ② 修学旅行等を対象にした旅行会社との商談会への出席 |

### (6) その他

- |                               |
|-------------------------------|
| ① ジュニアインターンシップ(小学校高学年～中学生)の実施 |
| ② ドイツからの青少年の研修の受け入れ           |

### 3, 新大阪事業所(大阪市立青少年センター)

大阪市からの委託料(約 50 百万円)がゼロでの 5 年間の指定管理の初年度になります。今まで自立化に向けてスタッフの多能化・業務の効率化を進めてきましたが、これらをよりレベルアップさせ、採算化を目指します。

#### (1) 文化ゾーン

- ① 市内・市外および平日・土休日の料金区分の新設を含む利用料金の改定。
- ② 利用時間を 30 分繰り上げて 9 時開館。
- ③ 貸室の新設
  - ・ミニイベントルーム(1F)
  - ・多目的室(3F) …………… 以上、4 月 1 日から。
  - ・企画制作室 2 室(7F)
  - ・会議室(8F) …………… 以上、5 月 1 日から。
- ④ 労力の大きい抽選会の廃止と、新予約システムにおける自動抽選の導入
- ⑤ ココプラキッズに携わるボランティアの募集・育成
- ⑥ 青少年育成事業の運営資金確保のためクラウドファンディングを導入

#### (2) 宿泊ゾーン(新大阪ユースホステル)

- ① 予約サイトの強化。魅力的パックの企画と掲載。  
26 年度見込 3,150 泊 27 年度目標 4,500 泊
- ② 栄養バランス・衛生・食育に配慮した食事の摂取確保  
26 年度見込 朝食 47%、夕食 23%  
27 年度目標 朝食 55%、夕食 28%
- ③ ゲートウェイホステル相互間の連携(共通チラシの相互配布)
- ④ 近畿ブロックユースホステル協議会と連合した利用促進の展開

#### (3) レストラン(ココカフェ)

- ① 状況に応じた店舗面積の調整と厨房業務の効率化
- ② ランチ 2 回転目の集客への取り組み
- ③ パーティーや結婚式 2 次会に加え、夕食時間帯における当日客獲得への取り組み。
- ④ 新設するミニイベントルーム・多目的室にランチミーティング等のケータリング
- ⑤ イベントの企画・開催

(4) 事業の企画と実施

- ① 青少年育成事業
  - ・ここぷらキッズフリースペース 毎週木曜日
  - ・ここぷらキッズイベント 毎月1回
  - ・キッズダンス教室 レッスンと発表会
  - ・七夕まつり(笹のディスプレイと短冊受付) 1週間程度
  - ・オータムフェスティバル 1本
  - ・情熱トランスミッション 1本
  - ・サンクスギビングフェスタ 1本
- ② 自主事業
  - ・童謡喫茶 10回
  - ・カルチャー教室(笑いヨガ教室、大人のためのピアノ教室、パソコンスクール他) 春・秋コース
- ③ 宿泊者対象事業
  - ・ロビーコンサート(クロマチックハーモニカ、ゴスペル、琴等) 20本程度
  - ・日本文化体験(能楽、折り紙、書道、浴衣着付、コスプレ、たこ焼き・お好み焼き等) 10本程度
  - ・イベント(淀川花火、ハロウィン、クリスマス、年末年始等) 各1本
  - ・その他(似顔絵、ドイツカフェ等) 10本程度
- ④ ココカフェイベント事業
  - ・ライブ事業(青少年ライブ・プロライブ) 30本
  - ・フォークソングナイト 12本
  - ・ミニイベントルームを利用した新事業(演劇ライブ、講演会、お遊戯会等) 6本

(5) 利用獲得目標

	平成27年目標	平成26年見込	対比
貸室(文化ゾーン) 利用率	186,000人 58%	196,000人 62%	95%
宿泊(新大阪ユースホテル) ベッド稼働率 客室稼働率	23,000人 50% 72%	23,000人 50% 72%	100%
レストラン ランチ (ココカフェ) パーティー 結婚式2次会	14,300人 110組 3,300人 30組 900人	11,000人 90組 2,800人 24組 720人	130% 118% 125%

#### 4, 羽衣事業所(大阪国際ユースホステル・羽衣青少年センター)

利用の中心である学校・団体・企業の研修・合宿のリピートおよび新規獲得に注力していきます。また、海外からの旅行者をさらに獲得するため、パッケージプランの充実など予約サイトを強化します。施設の魅力の PR やサービスの向上で利用者増を実現していきます。

##### (1) 利用促進活動

- ① リピーターの確保、DM、訪問営業等による青少年団体・学校団体の合宿利用、企業研修の獲得。
- ② 修学旅行利用の獲得のためのツール作り。
- ③ 各種予約サイトの拡充と LCC 需要を絡めた宿泊プランの充実  
26 年度見込 1,230 泊 27 年度目標 2,200 泊
- ④ 旅行会社や観光案内所への定期的な営業活動
- ⑤ ホームページを活用した情報提供、広報活動。

##### (2) 利用者の立場に立った運営・施設管理

- ① 経年劣化箇所の補修等、利用者にとって安全かつ使いやすい施設として維持管理の継続。
- ② ドイツ語・英語・韓国語・中国語等の館内表示の充実
- ③ 公園の中という立地を活かした楽しみ方の提案
- ④ 体験プログラムの充実

##### (3) 地域・人との連携

- ① 高石市や浜寺公園、臨海スポーツセンター、高石市医療センター、漕艇センターと連携し、施設 PR を積極的に実施。
- ② 地域の子どもやファミリーを対象としたイベントの実施
- ③ 新規ボランティアの募集と育成

##### (4) エコ活動の推進

- ① 利用者への節電・節水等の呼びかけを口頭や掲示を通じて行う。
- ② 社会福祉活動の一環としてエコキャップ回収運動の強化
- ③ さらなる LED 化の推進で電力消費量および CO2 排出量の削減

##### (5) 事業の企画と実施

- ① こども対象の事業
  - ・英語で遊ぼう 3 コース
  - ・羽衣キッズデイ 8 本
  - ・キッズクッキング 2 コース

- ・デイキャンプ 2本
- ② 家族対象の事業
  - ・アウトドアクッキング 3本
  - ・親子でクラフト 4本
- ③ 一般向けの事業
  - ・教室事業(ヨガ・太極拳・ノルディックウォーク・フラダンス等) 29本
- ④ 地域と連携した施設開放の事業
  - ・友×遊フェスティバル 1本

(6) 利用獲得目標

	平成27年目標	平成26年見込	対 比
羽衣青少年センター 稼働率	162,000人 30%	159,000人 29%	102%
大阪国際ユースホテル ベッド稼働率 客室稼働率	27,600人 36% 47%	27,200人 35% 45%	101%

5, 大阪府立少年自然の家

野外活動、プログラムの充実、施設環境の整備、広報の強化、出前講座の推進により、利用促進を図ります。また、バイキングスタイルの食事導入や、食物アレルギーや摂食障害のよりきめ細かな対応により、利用しやすい施設にしていきます。

(1) 利用促進活動

- ① ホームページでの情報提供・DM・学校訪問等
- ② スポーツ団体、一般利用者の誘致

(2) 利用者の立場に立った運営・施設管理

- ① 提供プログラムの充実と利用者満足度の向上
- ② アンケート等利用者の声を活かした運営
- ③ 安心安全な施設運営

(3) 社会教育施設としての取り組み

- ① 食育の推進と食事内容の充実
- ② 学校との連携、出前講座の実施
- ③ ボランティアリーダーの育成と活動場面の拡大
- ④ 障がい者の就労支援と人に優しい施設づくり
- ⑤ 青年の家等連絡協議会を中心に府下青少年施設と連携

(4) 事業の企画と実施

- ① 子ども対象の事業
  - ・フォレストジュニアクラブ 6本
  - ・長期自然体験キャンプ 3本
  - ・アドプトフォレスト事業 1本
- ② 家族対象の事業
  - ・自然体験事業 4本
  - ・野外料理体験事業 3本
  - ・家族で遊ぼう焚き火体験 8本
- ③ 社会体育事業
  - ・指導者養成事業(指導者対象技術研修) 3本
  - ・ナイトハイキング 1本
- ④ 知的障がい児支援事業
  - ・臨床動作法と乗馬体験 2本
- ⑤ 野外活動と文化の融合事業
  - ・「森の絵本」をつくろう 1本
  - ・自然と文化のコラボレーション「コスプレの森」 10本
- ⑥ 地域と連携した施設開放の事業
  - ・自然の家オープンデー(音の葉音楽祭・自然体験プログラム等) 1本

(5) 利用獲得目標

	平成27年目標	平成26年見込	対 比
日帰りおよび宿泊利用	100,000人	97,400人	103%

<共同指定管理者 一般財団法人大阪府青少年活動財団>

以 上